

令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	中 学	学 年	2 年	コ ー ス	一 貫
教 科	理 科	科 目	理 科		単 位 数
教科書	新編 新しい科学2		副教材	新編新しい科学2準拠問題集	

○学習到達目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。
観察・実験においては、得られた結果を自らの言葉で表現する力を身に付ける。

○教科道徳教育到達目標

科学的な態度をもつことを基礎として、道徳性を養う。真理を愛し、真実を求め、差別や偏見のない社会の実現をめざす。生命の尊さを理解し、尊重する。自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心をもつ。

○学習方法

授業時には、教科書・プリント・ノートを準備すること。
授業中は進んで発表をすること。ただし、きちんと指名されてから答えること。また、指名されなくても常に自分の考えをまとめて持っておくこと。
宿題は家庭や学校できちんとこなしておくこと。
観察・実験を行う際は班の友達と協力し、安全によく留意すること。
実験器具などは丁寧に扱うこと。
プリントはただ書くのではなく、誰が見ても見やすいように書くこと。もらったプリントは、ノートに貼ること。

○グレード別授業の基準

なし

○評価方法

各学期ごとに、下記評価基準に基づき、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。

評価の観点		評価のポイント	ルーブリック評価①	ルーブリック評価②	学期末考査				備考
A	自然事象への関心・意欲・態度	授業に向かう態度、ノートへのこだわり、課題への取り組み	◎	◎	/	/	/		
B	科学的な思考・表現	授業での発表、授業での演習および課題、テストへの取り組み	○	○	◎	/	/		
C	観察・実験の技能	演示実験、アプリでの模擬実験への取り組みおよびレポート	◎	◎	/	/	/		
D	自然現象についての知識・理解	テスト、課題への取り組み	○	○	◎	/	/		
E									
評価の割合(%)			25	25	50				

1学期成績 = ルーブリック評価①(25点)+ルーブリック評価②(25点)+期末考査(100点満点×0.5)
 2学期成績 = ルーブリック評価③(25点)+ルーブリック評価④(25点)+期末考査(100点満点×0.5)
 3学期成績 = ルーブリック評価⑤(25点)+ルーブリック評価⑥(25点)+期末考査(100点満点×0.5)
 学年成績 = (1学期成績 + 2学期成績 + 3学期成績) / 3

○指導計画

学期	月	学習内容	学期	月	学習内容	学期	月	学習内容
1	4		2	9	動物の生活と生物の変遷	3	1	電気の世界
	5			10	動物の生活と生物の変遷 天気とその変化		2	電気の世界
	6	化学変化と原子・分子		11	天気とその変化		3	電気の世界
	7	化学変化と原子・分子 動物の生活と生物の変遷		12	天気とその変化			

観点	評価段階	A	B	C	D
	評価項目				
知識 技能	サイエンスコンテスト	80点以上	65点以上	50点以上	50点未満
	再テスト	書いたり、声に出したりしながら練習し再テストに臨んだ。結果、満点であった。	書いたり、声に出したりしながら練習し再テストに臨んだ。結果、80点以上取得し	書いたり、声に出したりしながら練習し再テストに臨んだ。結果、80点未満であっ	練習し再テストに臨んだ。
思考力 判断力 表現力	実 験	実験の正しい手順を理解し、実行できた。さらに、別の方法を模索するなど工夫が見	実験の正しい手順を理解し、実行できた。	実験の正しい手順を理解していたが、上手く実行できなかった。	実験の正しい手順を理解できなかった。
	演 習	解き方を正確に理解し、自在に活用することができる。さらに、別の解き方を模索するなど工夫が見られた。	解き方を正確に理解し、自在に活用することができた。	解き方を理解することはできたが、うまく活用することができない。	解き方を理解することができない。
態度	授業ノート	全ての板書を写し、講義の内容なども別枠でメモするなど工夫が見られる。	全ての板書を写した。	一部の板書を写すことができなかった。	ほとんどの板書を写すことができなかった。
	課 題	教科書や授業ノート等を利用し、すべての問題に答え、期限内に提出することができ	期限内に提出することができた。	期限後ではあるが、提出することができた。	提出することができなかった。